

## 【R01-24】

# 悪性胃十二指腸閉塞の既存情報を用いた多施設共同観察研究

## 1. 研究の対象

2006年4月1日から2019年6月25日までに当院において悪性腫瘍による胃十二指腸閉塞に対して消化管金属ステント留置術を受けた方

## 2. 研究目的・方法

目的：悪性胃十二指腸閉塞の治療成績について検討し、最適な治療アルゴリズムを確立することです。

方法：研究担当者が、対象となる方の診療記録（カルテ）や画像・検査データなどの情報を基に調査・集計します。新たな診療や検査の必要はありません。

研究期間：2024年11月20日まで

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテ情報（年齢・性別・身長・体重・血圧・脈発・呼吸数・意識状態・併存疾患・前治療の有無・前治療の詳細・内服薬等）、血液検査データ、画像検査、金属ステント留置術の詳細、ステント留置後の経過、死因、その他診療録の情報。

## 4. 外部への試料・情報の提供

匿名化されている情報を Microsoft Excel で作成されたフォームに入力し、パスワードロックのかかるファイル形式のデータとして Eメールで代表施設である東京大学へ送ります。識別番号と患者の対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

## 5. 研究組織

東京大学医学部附属病院・消化器内科・中井 陽介（共同研究代表者）

関東中央病院・外川 修

東京高輪病院・平野 賢二

東京警察病院・八木岡 浩

日本赤十字社医療センター・伊藤 由紀子

三井記念病院・戸田 信夫

同愛記念病院・山本 夏代

埼玉医科大学総合医療センター・松原 三郎

順天堂大学医学部附属順天堂医院・伊佐山 浩通

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることや他の研究機関への提供について患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先まで 2021 年 3 月 31 日までにお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

J R 東京総合病院 消化器内科

住所：東京都渋谷区代々木 2-1-3

電話：03-3320-2210（代表）

担当者： 研究責任者 毛利 大（消化器内科 医長）

研究代表者：

東京大学医学部附属病院・消化器内科・中井 陽介

-----以上